

7月は「同和問題啓発強調月間」です

人の値うち

江口いと

何時いつかもんぺはいて
バスに乗ったら
隣座席の人は私を
おばはんと呼んだ

戦時中よくはいたこの活動的なものを
どうやらこの人は年寄りの
着物と思っているらしい

よそ行きの着物に羽織を着て
汽車に乗ったら
人は私を奥さんと呼んだ

どうやら人の値うちは
着物で決まるらしい

講演がある
何々大学の先生だと言え
内容が悪くとも
人々は耳をすませて聴き
良かったと言う
どうやら人の値うちは
肩書きで決まるらしい

名も無い人の講演には
人々はそわそわとして帰りを急ぐ
どうやら人の値うちは
学歴で決まるらしい

立派な家の娘さんが
部落にお嫁に来る
でも生まれた子供はやつぱり
部落の子だと言われる

どうやら人の値うちは
生まれた所によって決まるらしい
人々はいつの日
このあやまりに気付くであろうか

【出典】
人権読本「じんけんの詩」今野敏彦編著（明石書店）

同和問題は、人間の自由と平等に関する問題で、憲法で保障されている基本的人権（職業選択の自由・教育の機会均等を保障される権利・居住および移転の自由・結婚の自由など）が、同和地区出身というだけで、完全に保障されていないという問題です。

福岡県は、同和問題の解決を目指して県民一人ひとりの協力を得るために、昭和56（1981）年から毎年7月を「同和問題啓発強調月間」としています。この期間には、各種行事を集中的に実施し、県民あげて、差別をなくす運動を展開しています。市でも、街頭啓発や広報車による市内広報、公民館、職場などでの講演会、学習会などを開催しています。皆さんの参加をお待ちしています。

柳川市人権・同和教育夏期講座

- ◆日時 7月2日（土）、午後2時～（午後1時30分開場）
- ◆会場 三橋公民館大ホール（入場無料）
- ◆内容 演題 橋はかかる ～差別のない社会を目指して～
講師 栗原美和子くりはらみわこさん（ドラマプロデューサー・作家）



講師のプロフィール

フジテレビ入社後、プロデューサーとして数々のヒットドラマを生み出す傍ら、脚本・小説・エッセイなど、執筆活動も精力的に行っている。「社会で傷ついている人や苦しんでいる人の心に触れる作品づくり」にこだわる。小説作品『おとなり婚』『太郎が恋をする頃までには…』エッセイ『産まない女』など多数。

街頭啓発

- ◆日時・場所 7月1日（金）、午前7時20分（西鉄柳川駅など6か所）、午後3時50分（市内スーパーなど4か所）

福岡県「同和問題啓発強調月間」講演会

- ◆日時 7月18日（月・祝）午後0時30分～（午前11時30分開場）
- ◆会場 春日市「クローバープラザ」大ホール（入場無料）
- ◆内容 第1部 障がい児のバンド「ピュアハート」の演奏
第2部 講演
演題 民衆の歴史を語る ～福岡の歴史を歩こう～
講師 石瀧豊美いしたかよみさん（イシタキ人権学研究所長）
第3部 映画「信さん 炭坑町のセレナーデ」

問い合わせは、市人権・同和対策室（☎77・8532）、または市人権・同和教育推進室（☎77・8842）まで。